

	子どもの声・姿・意識 (総合的な学習の時間→総合)	活動の展開	教師の関わり(手立て)	単元の評価規準 ○知識・理解 ○思考・判断・表現 ●主体的に学習に取り組む態度 ＜キャリア・未来デザイン教育の視点＞ [探究的な学びの視点]
一学期	「1年間を通して扱う材を決め、材について知る」(10)			
		○昨年度の総合や桜町フェスティバルの振り返りをする。(2)	・「何に取り組んだか」「どんな力が身に付いたか」「今年どんな力を身に付けたいか」の観点を示す。	
	<div>【昨年度の振り返りでの児童の声】</div> <div>(身に付いた力)</div> <div>・気になったことを調べ、実践することができた。・協力して大きなイベントを成功させることができた。・自分たちで考え、新しいものを生み出すことができた。・様々な手段で調べることができた。</div> <div>・失敗の原因を突き止めることができた。・より良くするために調べることができた。・見る人の気持ちになって考えることができた。など</div> <div>(身に付けたい力)</div> <div>・自らすすんで動く力 ・想像力を働かせたい ・失敗しても励まし合って進む力 ・周りを見て何をするか考える力 ・諦めずに挑戦する力</div> <div>・失敗の原因を突き止め、次に生かす力 ・自分たちのことだけでなく、学校全体のことを考える力 ・新しい人とも協力できる力</div>			
	・綿を使って作りたい。(コットンボール、クッション、座布団、飾り、ランプ、ドライフラワーなど) ・綿を育てて収穫したい。 ・獲れた種を桜町フェスティバルで配りたい。 ・パンフレット、オリジナルキャラクター、紙芝居などを作って綿を広めたい。 ・種が綿に包まれている。綿の触り心地がいい。 ・種子から油やマーガリンも作れるんだ！ ・綿の日本の自給率は0%だって。	○追究していく材(綿)について思いを膨らませ、調べる中で活動の見通しをもつ。(1) ○綿を使ってどんなことができそうか考える。(1) ○綿の育て方を調べ、世話の仕方について話し合う。(2) ○畑を耕し、種を植える。成長を観察し記録する。(4)	・ロイロノートを使って一人ひとりがしたいことを共有し、模造紙に学級でしたいことをまとめ、共有する。 ・他の種との違いに気付けるよう、綿毛の付いた種に触れる。 ・やりたい子には綿の種を渡し、家庭でも育てられるようにする。	[1:課題を見出し、把握している] ＜③課題対応能力＞ ○綿を使った物が身近にたくさんあることに気付き、人が長く利用してきたものであることを理解している。
	「材を使った物作り、材についてさらに知ることを通して材を身近に感じ、材の魅力を考える」(10)			
	・綿は秋頃に収穫できるんだ。 ・綿から糸ができているんだって！ ・綿が身近なところに使われていることを紹介したいな。 ・5月に植えた種が11～12月頃に収穫できるんだ。 ・収穫までにできることはないかな。 ・パンフレットやオリジナルキャラクターが作れるんじゃないかな。 ・物作りの準備や練習ができるんじゃないかな。 ・綿を使ってできた物はふわふわしていて気持ちがいいな。 ・買った綿と種の綿毛の感触、ちょっと違うかも。 ・クッションだと綿が見えなくなってしまうね。 ・もっと綿の魅力が活かせる物はないかな。	○綿について調べる。(2) ○綿を使ってしたいことを活動計画にまとめることで、1年間の見通しをもつ。(2) ○作りたいものを決め、綿が獲れるまでは購入した綿を使った物作りをする。(3) ○振り返りをしながら、繰り返し行う。(3)	・「やってみたいこと」「紹介したいこと」「魅力」など、調べたことのまとまりを意識させる。 ・出し合ったアイデアをまとめたものは掲示し、綿の生長を楽しみにしたり、新しいアイデアを付け加えたりできるようにする。 ・1年間の予定を立てる際、綿の種まきから収穫までを意識できるようにする。 ・綿に関する本や資料、実物などを掲示し、日頃から触れられる環境を整える。	○綿の特徴、歴史などを調べることができる。 [1:課題を見出し、把握している] ◎綿を育てたり、綿を使ったりした活動の見通しをもち、計画を立てることができる。 [2:課題解決の方法を考えている] [3:協働して学んでいる] ＜①人間関係形成・社会形成能力＞ ＜③課題解決能力＞ ◎綿を使った物作りを通じて、綿の魅力について考えている。 [4:学びを振り返り、次につなげている] ●物作りを通じて、綿の魅力は何か改めて考えようとしている。

「綿を収穫し、作品作りをする。綿にかかわる探究活動を紹介することを通じて活動を振り返る。」(20)				
二 学 期	<div>・家でも物作りを試してみたい！</div> <div>・今度はもっと上手に作るぞ。</div> <div>・次はもっと綿の感触が分かる物を作りたいな。</div> <div>・綿が生長してきたぞ。</div> <div>・実から綿が獲れた！</div> <div>・実より綿が大きい！</div> <div>・獲れた綿を使って物作りがしたい！</div> <div>・糸を紡いだり、このままの綿を使ったりできないかな。</div> <div>・綿を育てた記録を紹介したい！</div> <div>・綿で作った物も紹介したい！</div> <div>・知らなかったこともたくさんあったよ。それも紹介したい！</div> <div>・綿を身近に感じてもらえるようにキャラクターを作りたいな。</div> <div>・ふわふわした感じが伝わるといいな。</div> <div>・珍しい種の様子も伝えたい。</div> <div>・身近にたくさん綿が使われていることが分かるようにしたいな。</div>	<div><div>夏休み</div>家庭で綿を使った物作り 綿の栽培</div> <div>○綿を使った物作りをする。(4)</div> <div>○綿の生長を観察し、記録する。(4)</div> <div>○綿の収穫をし、作品作りをする。(4)</div> <div>○自分たちの活動から、紹介したいことを出し合う。(2)</div> <div>○紹介したいことをパンフレットにまとめる。(3)</div> <div>○これまでの活動を振り返りながら、オリジナルキャラクターを作る。(3)</div>	<div>・振り返りを活かして次の物作りを考えられるようにする。</div> <div>・ロイロノートを使った記録の仕方など、知らない人に伝えるためにはどんな記録が必要か考えられるようにする。</div> <div>・児童のはてなを見取り、必要に応じて調べる時間を設ける。</div> <div>・収穫した綿に触れ、五感で感じられるようにする。</div> <div>・パンフレットができるまでを見通し、どんな手順、分担で作ればよいか考えられるようにする。</div>	<div>[1:課題を見出し、把握している]</div> <div>[2:課題解決の方法を考えている]</div> <div><②自己理解・自己管理能力></div> <div><③課題対応能力></div> <div>◎振り返りを活かし、より綿の魅力が伝わるような物作りをしている。</div> <div>●生長する綿を継続して世話したり、記録したりしている。</div> <div>[3:協働して学んでいる]</div> <div>◎友達と話し合いながら情報を取捨選択している。</div> <div>●実物の綿に触れることで、綿の特徴や魅力を捉えようとしている。</div> <div>[4:学びを振り返り、次につなげている]</div>
	<div>各教科での学習との結びつき</div> <div>国語:文章に説得力をもたせるには 算数:割合、帯グラフと円グラフ 理科:植物の発芽と成長、植物や実の種子のでき方 社会:国土の気候と地形、自動車の生産にはげむ人々、森林とともに生きる 家庭科:ひと針に心をこめて、ミシンにトライ!手作りで楽しい生活 書写:めざせ!新聞記者 図工:季節を感じて など</div>			
三 学 期	綿の魅力、1年間の成果を広める(12)			
	<div>・学習発表会で綿の魅力を伝えたい！</div> <div>・綿が身近な物であることに気付いてほしい！</div> <div>・自分たちの成長を見てもらいたい！</div> <div>・1年間の活動を、もっといろんな人に見てもらいたい！</div> <div>・自分たちで育てたもので物を作るのは楽しい！</div> <div>・友達と協力して作ることができた！</div>	<div>○綿の魅力をまとめる。(3)</div> <div>○学習発表会等で綿の魅力を紹介する。(3)</div> <div>○1年間の成果となる活動を、地域の方や保護者に披露する。(2)</div> <div>○今年度の成果と課題をまとめる。(2)</div>	<div>・今までの活動を振り返り、魅力を発信するためにどんな方法がよいか考えるようにする。</div> <div>・広めたい、伝えたいという思いを形にするために、これまでの学習が生かせないか考えられるようにする。</div> <div>・探究活動での成長を実感できるようにする。</div> <div>・学んだことを6年生につなげるためにキャリア・パスポートを活用する。</div>	<div>[1:課題を見出し、把握している]</div> <div>[2:課題解決の方法を考えている]</div> <div>◎綿や活動を紹介するために、相手意識や目的意識を明確にしてまとめる方法を考えている。</div> <div>[3:協働して学んでいる]</div> <div>◎情報を取捨選択して表現方法を考え、まとめている。</div> <div>[4:学びを振り返り、次につなげている]</div> <div><②自己理解・自己管理能力></div> <div><④キャリアプランニング能力></div> <div>●1年間の活動を振り返り、自己の成長を自覚している。</div>
材（綿）のもつ価値		材（綿）に寄せる子どもたちの思いや願い		
<div>・身近だが知らない綿について知り、製品化されていない綿に触れ、自ら栽培や物作りをすることで、長い間人が利用してきた綿の魅力に気付くことができる。</div> <div>・綿を使った物作りは、身近な物が自然のものからできていることを実感し、人の技術に関心をもち、驚き、感謝を感じることができる。</div> <div>・綿の栽培と並行した物作りを繰り返し行うことで、技術だけでなく、綿を活かし、綿の魅力を追究しようとすることができる。</div> <div>・自分の作った物を見てもらうことで達成感を得、物作りの喜びを味わうことができる。</div>		<div>★綿を収穫したり、物作りをしたりするを楽しみにしている。</div> <div>☆自分たちの力で育てた綿を大切に収穫したいと願っている。</div> <div>☆収穫した自分たちの綿を使って、物作りをしたいと願っている。</div> <div>☆「綿」について活動したことを、みんなにも知ってほしいと願っている。</div> <div>☆綿について知らないことを知ることが楽しいと思っている。</div> <div>☆綿を育て、綿を使った物作りをしたり、綿についてみんなに知らせたりしたいと願っている。</div> <div>★…子どもたちの深層にあると予想される求め・思い・願い</div>		